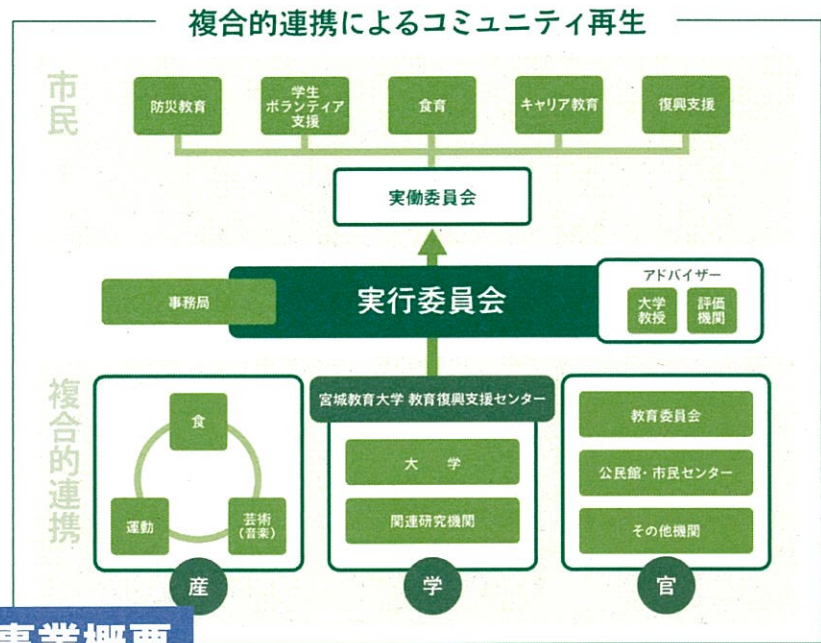


# ～学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業の取組事例～

## 受託団体：国立大学法人宮城教育大学被災地復興支援実行委員会

### 取組の基本理念

産・官・学など多様な主体が連携して被災地の復興を推進するとともに、一過性のものとせず、長く地域に根差す仕組みづくりを実現する。



### 事業概要

- 宮城県内の被災地における地域コミュニティの再生を目指し、学びを通じた支援事業を実施する。
- 地域の復興を支援するにあたり、被災地を抱える自治体との連携を図りながら、以下の内容を進めていく。
  - I：地域における活動を担う人材の育成
  - II：人と人とのつながりを再生する学びの事業の推進
  - III：学校と地域とが協働でとりくむ防災教育の創造と実践
  - IV コミュニティ再生を支える地域連携組織の構築

### 取組の概要

#### 【学生企画「学び喫茶」】

場所：学内・気仙沼市・南相馬市  
 内容：被災地でボランティア活動に取り組む学生たちが、自ら企画した活動。被災地訪問や海外（フィリピン等）への災害支援を行った。



### 活動を担う人材育成

#### 【食の学びによる地域づくり】

場所：仙台市・塩釜市（野々島）  
 内容：宮城の食文化資源を活用して、地域での「食の学び」の機会やその実践の効果を多様な「地域づくり」に発展・進化させる。



### つながり再生目指す学びの事業

#### 【防災連続講座】

場所：仙台駅直結複合施設アエル1階アトリウム  
 内容：広く市民に防災に関する学びの場を提供するために1週間連続計18講座を開催。東日本大震災の経験が次代へ語り継ぐ意識を醸成。来年3月開催予定の国連防災世界会議へもつなげたい。

### 協働で取り組む防災教育の創造

